

平成26年度会津大学外国人留学生後援会 (SAISUA) 事業報告 (案)

SAISUA では入学直後で生活が安定しない外国人留学生を対象に、奨学金の支給及び国民健康保険料の一部補助を行っています。また、留学生が学内や地域で孤立することなく、明るい学生生活を送れるように、学内での活動や地域の小学校との交流活動等を実施しています。

SAISUA 生活支援事業

《生活支援》

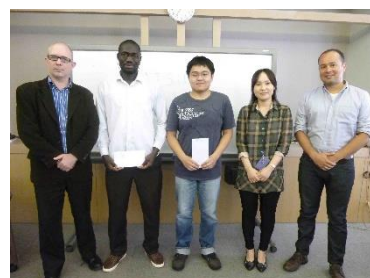
奨学金の支給： 前期 4名 (@20,000円×6ヶ月)

後期 1名 (@20,000円×6ヶ月)

*内訳： 中国3名、セネガルのべ2名

SAISUA より奨学金を授与された留学生は、会津大学の行事や地域のイベントに参加し、以下のような国際交流活動等を担当することが義務づけられています。

- ・地域の小学校を訪問し、自国の紹介を行うこと
- ・大学訪問者のキャンパス見学での案内をすること
- ・会津大学の学園祭で、国際交流活動等を紹介すること
- ・会津大学国際戦略本部が企画・運営する各種活動でボランティアに従事すること 他



SAISUA 関連行事 (学内・地域交流活動)

《ウェルカム・アワー (歓迎親睦会)》

日時：平成26年 5月14日 (水)

平成26年 11月12日 (水)

場所：会津大学厚生棟2階「樺」

4月に入学した留学生と新任の教職員を歓迎するウェルカム・アワーを、5月14日にSAISUAと国際戦略本部の共催で開催しました。

岡学長、国際戦略本部長の岩瀬理事、SAISUA会長のキム准教授をはじめ、フランスの留学生など、39名の学生と教職員が集まりました。

11月12日に開催された第2回のウェルカム・アワーには、ベラルーシや中国からの留学生や日本人学生と教職員あわせて38名が参加しました。会長のキム准教授が司会を務め、留学生と日本人学生との間で積極的な交流が図られました。

歓迎親睦会として開催された春と秋の2回のウェルカム・アワーともに、参加者同士が楽しく親交を深め、予定の時間が過ぎても多くの参加者がなかなか会場を後にしないほど、話の種が尽きないようでした。



《会津の文化、歴史を学ぶ―夏期日本文化研修―》

日時：平成26年7月28日～8月1日（日）

場所：飯盛山とその周辺

会津大学の留学生、外国人教員とその家族及び福島大学の職員の25名が、「夏期日本文化研修」に参加しました。この研修は会津や日本の歴史と文化に親しみ、その知識を深めてもらうことを目的としています。

地域の歴史や文化に関する講義を4日間行い、最終日には地域の文化的歴史的な施設の見学をするフィールドトリップを行いました。フィールドトリップでは、漆器店と酒蔵を見学しました。

受講生は漆器を作っている姿を実際に見学し、職人の方の技術の細やかさに大変驚いていました。酒蔵では日本酒の作り方の説明を受け、日本酒を試飲しました。受講生たちは会津の歴史や文化を楽しく学び有意義な夏期日本文化研修になりました。



《国際交流フェスティバル・会津大学学園祭「蒼翔祭」での活動》

- ・国際交流フェスティバル

日時：平成26年10月4日（土）

場所：鶴ヶ城体育館

- ・会津大学学園祭「蒼翔祭」

日時：平成26年10月11日（土）・12日（日）

場所：会津大学キャンパス 模擬店会場（屋外）・
フリーマーケット会場（管理棟ロビー）

SAISUA 前会長のロジスキーご夫妻協力のもと、SAISUA として国際交流フェスティバル及び蒼翔祭に参加しました。留学生の尽力もあり、合計で60,550円の売上げが生じ、全額SAISUA への寄付金となりました。



《インターナショナル・コミュニケーション・ツアー》

日時：平成27年3月29日（日）

場所：リステル猪苗代

スキーやスノーボードを楽しんでもらうことを通して会津地域の良さを知ってもらうため、また、留学生同士が自国のことや日本に来て思ったことなどを情報交換してもらうために「インターナショナル・コミュニケーション・ツアー」を開催しました。

スキー未経験の留学生も、この貴重な体験を楽しんでおりました。また、お昼の後、留学生がそれぞれの故郷について3分間ずつスピーチを行い、お互いのバックグラウンドなどについて理解を深め合い、親交を温めました。

